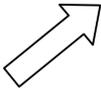
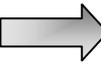
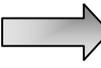


## 愛知県経済の現状と見通し <2016年1月>

### 1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	基調判断(方向等)	基調判断の 前月との 比較(注1)	水準評価 (注2)
		詳細		
総括判断	景気の現状	景気は持ち直している ----- 県内景気は持ち直している		
	当面の見通し	景気は緩やかに持ち直していく見通し ----- 雇用・所得環境の底堅さや個人消費の回復を背景に、県内景気は緩やかに持ち直していく見通し		
家計部門	個人消費	上向く兆しがみられる ----- 百貨店販売額は、暖冬による衣料品の販売低迷などから、5か月ぶりに前年比減少		
	雇用	底堅く推移 ----- 有効求人倍率は前月比上昇し、高水準		
	住宅投資	増加基調 ----- 住宅着工戸数は6か月連続の前年比増加		
企業部門	企業活動	底入れの兆し ----- 鉱工業生産指数は2か月ぶりに前年比上昇		
	企業倒産	低水準 ----- 企業倒産件数は2か月連続の前年比減少		
海外部門	輸出	一進一退 ----- 名古屋港通関輸出金額は5か月ぶりに前年比増加		
公共部門	公共投資	底入れの兆し ----- 公共工事請負金額は4か月ぶりに前年比増加		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、 : 上方修正、 : 据え置き、 : 下方修正を示す。

(例えば、「回復」「減速」となれば下方修正、「回復」「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、 : 晴、 | : 晴～曇、 : 曇、 | : 曇～雨、 : 雨、 : 雨を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 長井
	電話: 059-354-7102 Mail: mir@miebank.co.jp

2. 個別項目の動向:家計部門

<b>基調判断</b>	上向く兆しがみられる		
基調判断の前月との比較	➡	水準評価	

**現状**  
 県内個人消費の動向を販売側からみると、11月の名古屋市内百貨店販売額は、前年比 3.0%と5か月ぶりの減少(図表1)。品目別にみると、暖冬の影響で高額な冬物の販売が低迷し、衣料品(同 7.3%)が大きく減少したほか、飲食料品(同 2.5%)も2か月連続で減少。

12月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比 9.0%と4か月連続で減少(図表2)。車種別にみると、普通車(同+18.1%)小型車(同+3.3%)がともに増加したものの、軽自動車税引き上げに伴い軽乗用車(同 39.8%)が大幅減。

一方、消費の動向を支出側からみると、11月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比 27.4%と、3か月ぶりに減少(図表3)。交通・通信(同 67.9%)が大きく減少したほか、食料(同 10.4%)や被服及び履物(同 36.9%)も2ヶタ減。

**見通し**  
 直近の消費低迷は暖冬の影響が大きいとみられ、長引く可能性は低いと判断。自動車関連などで好調な企業収益を背景とした賃金の増加が期待されるほか、原油価格下落に伴うガソリンなどエネルギー価格の低下も下支えし、今後の個人消費は緩やかに回復する見通し。ただし、大きく落ち込んでいる乗用車販売は、回復に時間を要する見込み。

**図表1 名古屋市内百貨店販売額 < 前年比 >**

(資料) 中部経済産業局「管内百貨店・スーパー販売概況」

**11月 名古屋市内百貨店販売額**  
 359億円 前年比 3.0% (5か月ぶりの減少)  
 ・衣料品: 前年比 7.3% (2か月ぶりの減少)

**図表2 新車乗用車販売台数 < 前年比 >**

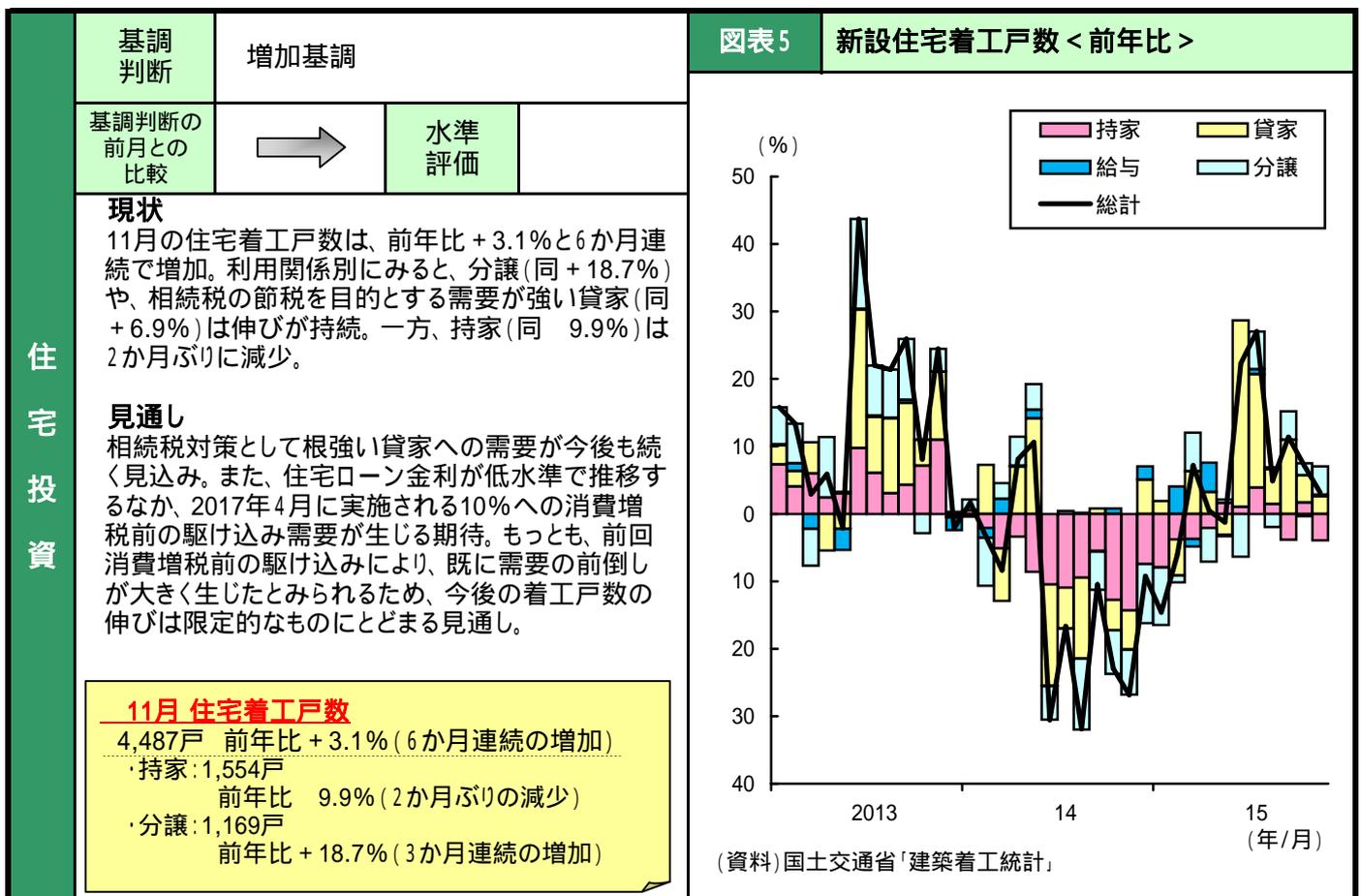
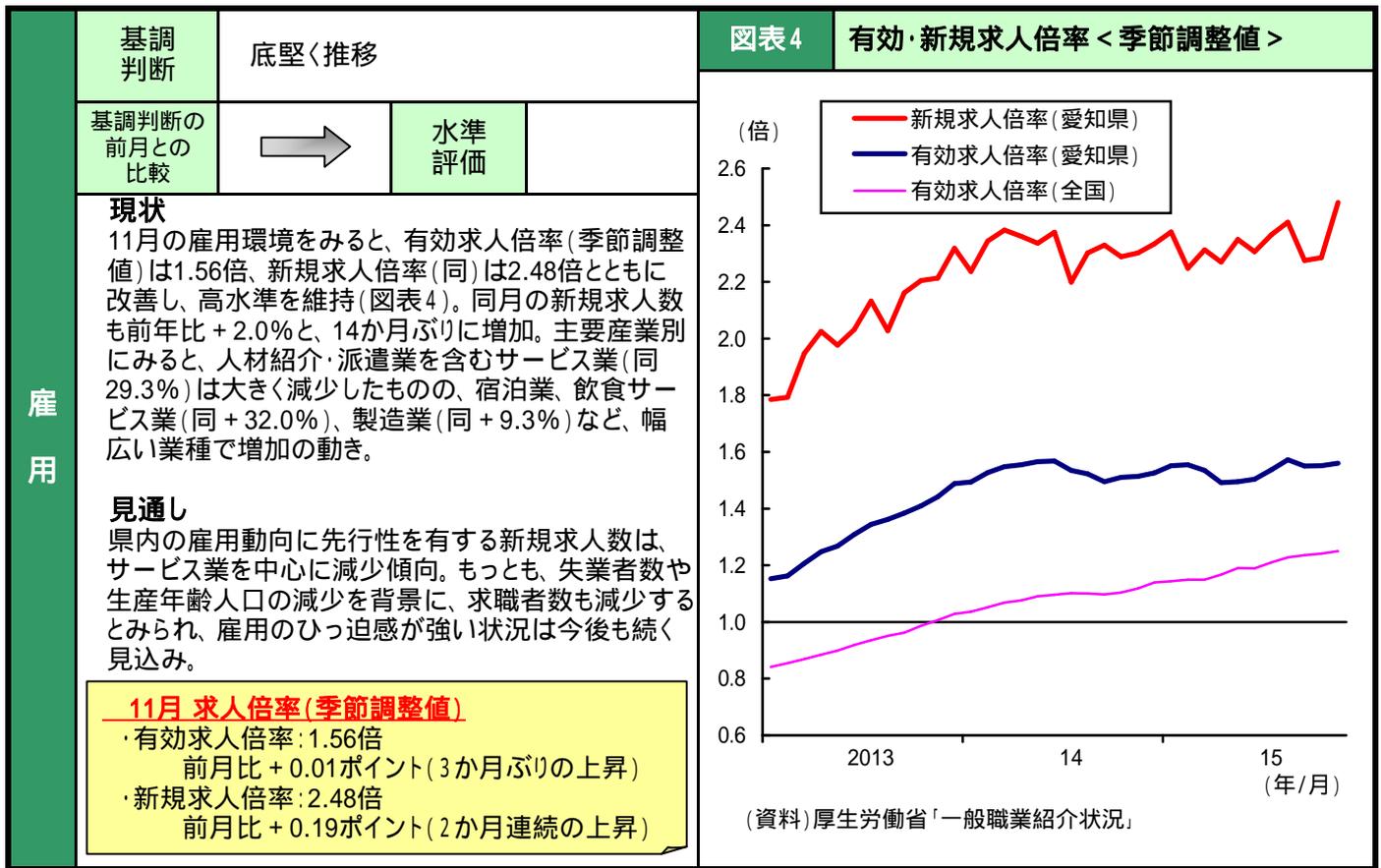
(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」

**12月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)**  
 27,476台 前年比 9.0% (4か月連続の減少)  
 ・軽乗用車: 7,130台  
 前年比 39.8% (12か月連続の減少)

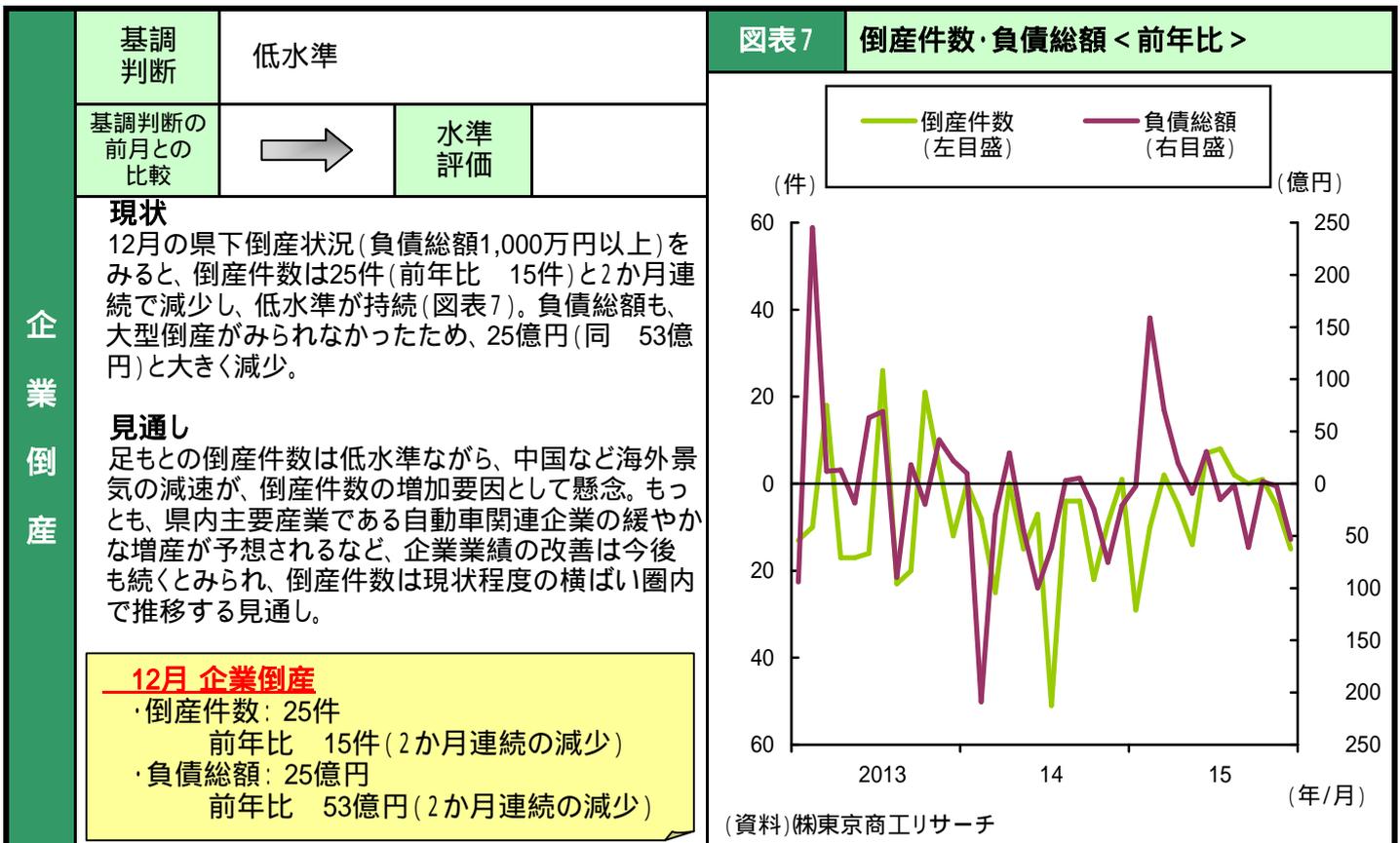
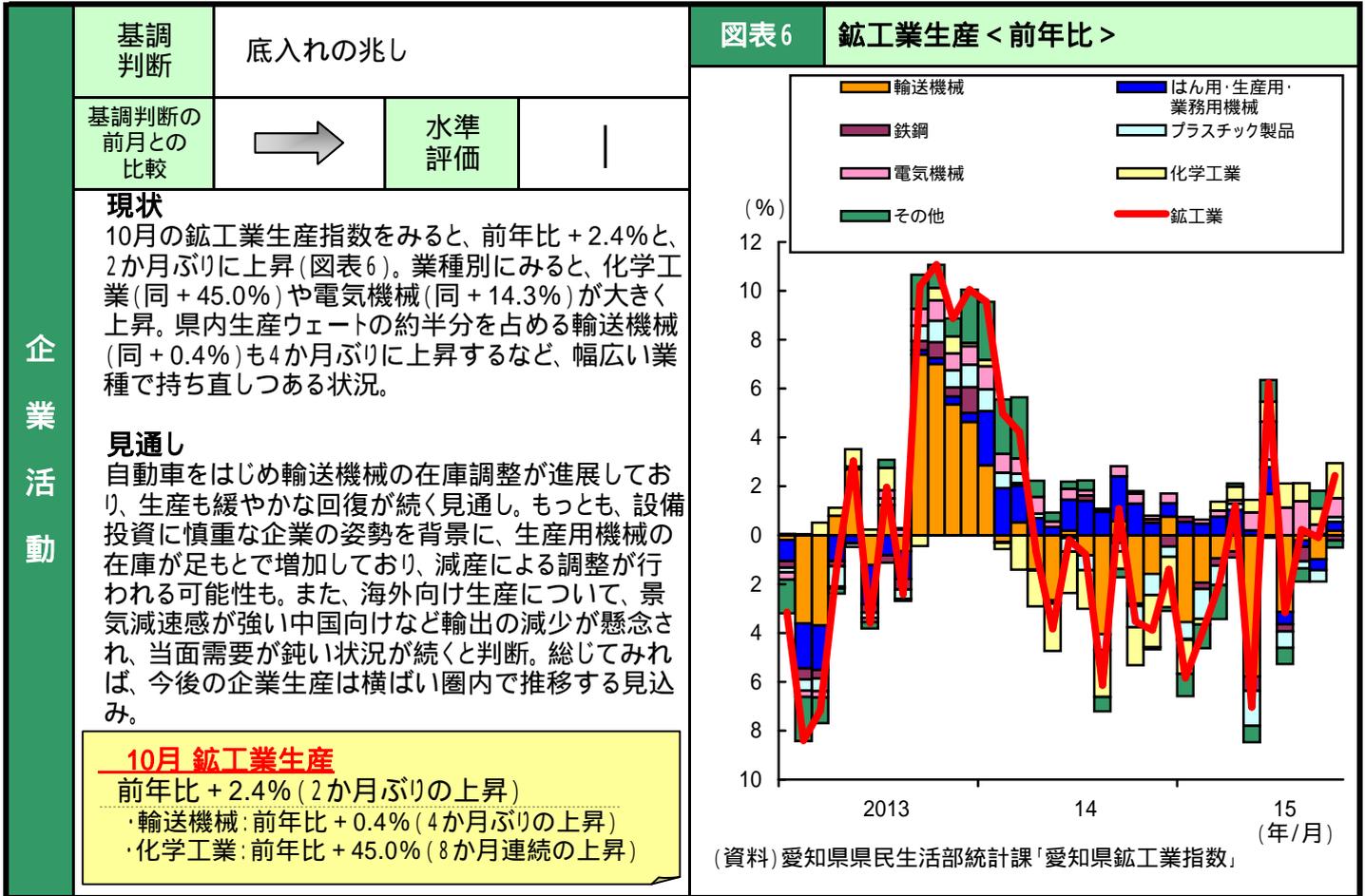
**図表3 名古屋市・消費支出等 < 前年比 >**

(資料) 総務省「家計調査」

**11月 勤労者世帯・消費支出**  
 前年比 27.4% (3か月ぶりの減少)  
 ・交通・通信: 前年比 67.9% (8か月連続の減少)  
 ・食料: 前年比 10.4% (6か月連続の減少)  
 ・被服及び履物: 前年比 36.9% (3か月連続の減少)



3. 個別項目の動向: 企業部門



4. 個別項目の動向: 海外部門

<b>輸 出</b>	基調判断	一進一退		
	基調判断の前月との比較	↗	水準評価	
	<p><b>現状</b> 11月の名古屋港通関輸出額は前年比 +3.2%と、5か月ぶりに増加(図表8)。仕向地別にみると、米国(同 5.2%)や中国(同 0.5%)が減少する一方で、西欧(同 +12.3%)や、中東・大洋州を含むその他地域(同 +12.3%)が大きく増加し、輸出総額を押し上げ。</p> <p><b>見通し</b> 11月の一般機械(中部5県主要メーカー)の海外受注高は前年比 4.5%と5か月連続で減少。地域別にみると、北米(同 +24.9%)が大きく増加した一方、アジア(同 34.0%)やEU(同 14.9%)が2ケタの減少となり、弱い動き。こうした外需の減退に伴い、今後の輸出は一進一退の状況が続く見通し。</p>			
<p><b>11月 名古屋港通関輸出額</b> 9,576億円 前年比 +3.2% (5か月ぶりの増加) ・米国: 前年比 5.2% (2か月連続の減少) ・西欧: 前年比 +12.3% (2か月連続の増加)</p> <p><b>11月 一般機械海外受注高</b> 264億円 前年比 4.5% (5か月連続の減少) ・アジア: 前年比 34.0% (5か月連続の減少)</p>				

**図表8 名古屋港通関輸出額 < 前年比 >**

(資料) 名古屋税関「管内貿易概況」

5. 個別項目の動向: 公共部門

<b>公 共 投 資</b>	基調判断	底入れの兆し		
	基調判断の前月との比較	↗	水準評価	
	<p><b>現状</b> 12月の公共工事請負状況をみると、請負件数は前年比 +2.3%と、4か月ぶりに増加。また、請負金額も同 +16.0%と大きく増加(図表9)。発注者別にみると、大型案件のみられた道路公社を含むその他(同 +102.4%)や独立行政法人(同 +67.1%)が大きく増加。一方、国(同 67.9%)は減少傾向。</p> <p><b>見通し</b> 道路などインフラ事業は、引き続き維持・更新の需要が強いとみられ、底堅く推移する見込み。また、リニアやオリンピックなどに伴う中長期的な投資も生じる期待。もっとも、請負金額の約3割を占める県は、公共事業節減を来年度予算編成に盛り込んでおり、総じてみれば横ばい圏内で推移する見通し。</p>			
<p><b>12月 公共投資</b> ・公共工事請負件数: 793件 前年比 +2.3% (4か月ぶりの増加) ・公共工事請負金額: 271億円 前年比 +16.0% (4か月ぶりの増加)</p>				

**図表9 公共工事請負金額 < 前年比 >**

(資料) 東日本建設業保証㈱「愛知県内の前払金保証取扱高」

以上

# 景 気 指 標

三重銀総研  
2016/1/27

## < 愛知県 >

(注) ( )内は前年同期(月)比 < >内は季節調整前期(月)比

	2014年	2015年	2015年				2015年				
			1~3	4~6	7~9	10~12	8月	9月	10月	11月	12月
大型小売店販売額(店舗調整済)	( 2.0)		( 5.3)	( 4.3)	( 2.7)		( 2.6)	( 2.3)	( 2.6)	( 1.4)	
百貨店	( 4.9)		( 9.2)	( 7.7)	( 3.8)		( 2.4)	( 2.6)	( 3.0)	( 3.3)	
スーパー	( 0.5)		( 3.0)	( 2.8)	( 2.2)		( 2.6)	( 2.2)	( 2.4)	( 0.4)	
新車登録・販売台数(台)	256,917 ( 0.1)	244,528 ( 4.8)	71,341 ( 17.2)	54,023 ( 5.4)	61,924 ( 2.1)	57,240 ( 1.8)	17,043 ( 6.5)	23,654 ( 3.8)	18,362 ( 0.2)	18,532 ( 4.8)	20,346 ( 10.8)
有効求人倍率(季調済)	1.53		1.55	1.50	1.55		1.57	1.55	1.55	1.56	
新規求人倍率(季調済)			2.31	2.31	2.35		2.41	2.28	2.29	2.48	
名目賃金指数(調査産業計)	( 0.9)		( 1.1)	( 0.2)	( 0.9)		( 1.8)	( 0.8)	( 0.7)		
実質賃金指数(同)	( 2.3)		( 1.9)	( 0.9)	( 0.4)		( 2.5)	( 0.7)	( 0.4)		
所定外労働時間(同)	( 4.6)		( 7.3)	( 8.1)	( 6.4)		( 8.0)	( 4.7)	( 5.4)		
常用雇用指数(同)	( 0.8)		( 0.4)	( 0.7)	( 0.9)		( 0.9)	( 1.0)	( 0.9)		
新設住宅着工戸数(戸)	55,888 ( 13.3)		13,573 ( 4.8)	14,805 ( 6.7)	15,892 ( 14.5)		4,477 ( 4.9)	5,683 ( 11.4)	5,092 ( 7.1)	4,487 ( 3.1)	
鉱工業生産指数	( 0.2) -		( 3.9) < 1.3>	( 0.3) < 0.4>	( 1.1) < 3.0>		( 0.2) < 0.1>	( 0.1) < 3.2>	( 2.4) < 3.6>		
大口電力消費量(百万KWh)	25,565 ( 1.5)	25,203 ( 1.4)	6,090 ( 4.2)	6,225 ( 1.1)	6,659 ( 0.2)	6,230 ( 0.6)	2,099 ( 1.7)	2,231 ( 0.1)	2,173 ( 0.5)	2,093 ( 1.7)	1,964 ( 4.0)
企業倒産件数(件)	586	528	123	155	133	117	39	48	51	41	25
(前年同期(月)差)	( 144)	( 58)	( 37)	( 12)	( 10)	( 19)	( 2)	( 0)	( 1)	( 5)	( 15)
非居住用建築物着工床面積(千㎡)	3,796 ( 2.6)		758 ( 8.8)	756 ( 19.0)	1,193 ( 33.9)		230 ( 19.8)	412 ( 66.9)	240 ( 46.7)	291 ( 11.4)	
名古屋港 輸出(億円)	113,748 ( 2.9)		28,042 ( 3.5)	27,952 ( 2.0)	28,441 ( 1.4)		8,512 ( 0.5)	9,766 ( 3.0)	10,333 ( 3.4)	9,576 ( 3.2)	
公共工事請負金額(億円)	4,941 ( 2.6)	4,771 ( 3.4)	714 ( 4.2)	1,836 ( 6.7)	1,365 ( 1.4)	857 ( 2.8)	348 ( 0.8)	486 ( 2.8)	326 ( 13.4)	260 ( 4.4)	271 ( 16.0)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	( 2.5)		( 2.2)	( 0.4)	( 0.2)		( 0.2)	( 0.1)	( 0.1)	( 0.1)	

## < 東海3県(愛知・三重・岐阜) >

	2014年	2015年	2015年				2015年				
			1~3	4~6	7~9	10~12	8月	9月	10月	11月	12月
大型小売店販売額(全店)	( 2.5)		( 3.3)	( 6.0)	( 4.5)		( 4.6)	( 3.8)	( 4.4)	( 0.8)	
同 (既存店)	( 1.4)		( 5.1)	( 3.7)	( 2.3)		( 2.2)	( 2.0)	( 2.4)	( 1.5)	
有効求人倍率(季調済)	1.43		1.48	1.46	1.51		1.52	1.51	6685.00	6511.00	
新規求人倍率(季調済)	2.12		2.16	2.20	2.22		2.23	2.18	0.39	4.70	
新設住宅着工戸数(戸)	76,030 ( 13.4)		18,241 ( 4.0)	20,127 ( 7.3)	21,138 ( 12.6)		6,226 ( 5.1)	7,367 ( 9.5)	2 ( 2.2)	2 ( 2.3)	
鉱工業生産指数	( 4.4) -		( 1.0) < 0.5>	( 0.3) < 1.2>	( 2.6) < 1.4>		( 4.0) < 0.4>	( 0.2) < 4.6>	( 0.9) < 2.3>	( 5.0) < 0.5>	
企業倒産件数(件)	859	737	183	217	183	154	57	63	64	53	37
(前年同期(月)差)	( 156)	( 122)	( 57)	( 19)	( 3)	( 43)	( 5)	( 4)	( 8)	( 10)	( 25)
域内外国貿易 純輸出(億円)	58,773		16,759	17,694	17,545		4,488	6,502	7,174	6,784	
輸出(億円)	157,855 ( 4.0)		40,361 ( 7.8)	39,869 ( 5.4)	40,838 ( 2.3)		12,035 ( 1.8)	14,350 ( 2.9)	14,753 ( 0.7)	13,594 ( 3.6)	
輸入(億円)	99,082 ( 9.0)		23,603 ( 8.1)	22,174 ( 5.8)	23,293 ( 7.7)		7,547 ( 5.7)	7,849 ( 9.3)	7,579 ( 7.6)	6,811 ( 11.4)	

各指標における直近の数値